

平成30年度第2回花巻市文化財保護審議会 会議録

1 開催日時

平成31年3月15日 (金) 午後2時～午後3時30分

2 開催場所

花巻市石鳥谷総合支所3階 3-2・3-3会議室

3 出席者

(1) 委員 8名

菊池邦雄委員、小野義春委員、大森鉄雄委員、阿部茂巳委員、高橋進委員
中村良幸委員、中嶋奈津子委員、大原皓二委員

(2) 事務局 7名

佐藤勝教育長、布臺一郎教育部長、文化財課 平野克則課長、村田豊隆課長補佐、
大内典子主任主査兼文化財係長、佐藤幸泰埋蔵文化財係長、酒井宗孝主任専門員

4 内容

(1) 協議

ア 平成30年度花巻市文化財関係事業報告について
イ 文化財保護法の一部改正に伴う文化財保存活用地域計画の作成について

5 議事録

(1) 開会 (進行: 村田課長補佐)

[審議会成立報告 (委員8名出席)]

(2) 挨拶

(佐藤教育長) 大変お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。また、委員の皆様には、市内の文化財保護、調査等、全般につきましてご専門の立場からご助言いただいておりますこと、感謝申し上げます。おかげさまで、本年度予定しておりました事業について、着実に進めることができたものと考えております。またこの度、石鳩岡・土沢神楽に次いで、倉沢人形歌舞伎が国の記録作成等の措置を講ずべき無形の文化財に選択されるというお知らせをいただき、大変ありがたいことと考えております。本日は、年度末の審議会でございますけれども、今年度の事業及び主要な調査結果等についてご報告いたしますと共に、文化財保護法の改正に伴い、今後ある一定の期間を要して策定する文化財保存活用地域計画についてご説明します。次年度以降の文化財保護・保全に活かすよう様々な意見をいただきますよ

うお願ひします。

(3) 協議 (議長 菊池会長)

(菊池会長) お忙しい中お集りいただきまして大変ありがとうございます。本日の会議は、先ほど教育長さんがお話ししたように、平成30年度事業報告と文化財保存活用地域計画の作成が主な内容になっております。平成30年度の最後の会議ですので、色々とご意見ご要望があればお出し願いたいと思います。よろしくお願ひいたします。

ア 平成30年度花巻市文化財関係事業報告について

(菊池会長) 平成30年度花巻市文化財関係事業計画について、事務局の方から説明お願ひします。

〔平野課長から資料No.1-1、資料No.1-3、村田課長補佐から資料No.1-2、佐藤係長から資料No.1-4を説明〕

〔質疑〕

(菊池会長) 説明が終わりましたので、質疑をお受けしたいと思います。どなたか御意見、ご質問はございませんか。

何でもいいですが。

平成30年度花巻市文化財関係事業報告については承認されたものとします。

イ 文化財保護法の一部改正に伴う文化財保存活用地域計画の作成について

(菊池会長) それでは、次に(2)文化財保護法の一部改正に伴う文化財保存活用地域計画の作成についてに入らせていただきます。事務局のほうから説明お願ひいたします。

〔村田課長補佐から説明〕

(菊池会長) 説明が終わりましたが、何かご質問はございませんか。

(中村委員) コミュニティに聞き取りをするということですが、これはどういう形で聞き取りをするのですか。非常に難しいような気がするのですが。

(村田補佐) 非常に大変だと覚悟しているのですが、市内に27のコミュニティ会議があるわけですが、コミュニティ会議によっては郷土史であったり、文化財を学ぶ生涯学習部会や、文化財に関する活動をしている部会もあります。文化財に関する資料を持っているところ、あるいは素材を集めているところから資料提供してもらい、こちらの方である程度ピックアップして資料化したものを作りたいと思います。コミュニティ会議の生涯学習部会の人たちとか、一般

の方々にも入っていただくため、コミュニティだよりに掲載いただき、お話し合いをやります。お話を聞いて、ここにこんなのがあるとか、資料には入っていないがこういうのがあるとか、というものをしてもらって、拾い上げる作業を第1弾としてやります。その中で特徴的なものであったり、歴史としても貴重なものが出てくれば、現地を見るとか、現物を確認してこの地区にはこういった文化財的なものがあるということを拾い上げることを各地区2回くらいずつ入っていきます。総回数とすれば54回くらい出向く活動をしていこうと考えています。それを、まず来年度、再来年度に行います。

(中村委員) 大変だと思うけれども。これでやりたいのは27の地域の特色を出すというのではなくて、市全体として積み上げていかなければならないということなんですよ。この段階の次に絞る段階があって、さらに何回かやるとなるとこの年度だけでは難しいのではないかと思って見ていましたが。地域のやつを作るだけでも相当大変だと思うんだけど、それを市全体の構想としてまとめ上げていくとなると更に大変。それを市の特色として出していくとなると、かなり難しいので、細かいところからやって行っていいのか、そっちの方にかなり時間がかかるのが気になる。地域に逆に引っ張られて行って、地域にせっかくまとめてもらったって、ここは特色ありますよというのが市全体でみたら消えてたっていう形にならなければいいなという気がする。その辺がどうなのかな。

しかも今の地域コミュニティ会議は、小学校単位や昔の村単位でなく、いろいろなところで混じっているので、地域の特色を出すのは厳しいのかなと思う。あまり細かいところからやっていくとまとめきれなくなる可能性はないかな。

(菊池会長) 地域で出せるところもあるのでしょうか、出せないところもある。全く関心のないところもあるんですよね。関心のある方が入っていればいいですが、そういう方がほとんど入っていない振興センターもありますよね。

気のある人がいて、そこを中心にまとめてくれればいいのですが。

(阿部委員) それでもいいのではないかでしょうか。

(中村委員) 取り上げるだけでもいいのか。

(阿部委員) 酷い話かもしれないけれども、やる価値はあるのではないかでしょうか。私たちが知らない部分が沢山あると想定して、どんどんおやりになってください。

(中村委員) ただこれ、3年という計画で拾っていくとかなり大変だなというだけ。

(阿部委員) どこで線引きするかと考えると駄目だと思います。線引きは無いほうがいいと思います。

(菊池会長) まず何でもいいから出してもらうと。

(阿部委員) そうそう。自主的なそういう形で盛り上がるような雰囲気を作つて、あとは私たちの会議で選択する。責任を私たちに負わせればいい。

- (中村委員) かなり数は集まると思いますよ。ただそれを事務局だけで集めて、地域の人たちと協議するのは大変だということで、阿部先生みたいにバサバサ切りたい人がいるのであれば、逆にいっぱいあげてもらって地域でこじんまりとまとまらないで、細かいところまで上げてもらって、大局で見て選択しこういう特色があるとまとめていった方が早いのかなと。
- (佐藤教育長) 出せるところはいいけど。
- (中村委員) そう、出せないところがね。たぶんフォローが入って調べてあげないと出来ないところがあるのかなという気がします。
- (佐藤教育長) 郷土史を出しているところは平均値以上だと思うのですが、郷土史もかなり恣意的につくり、考古がないところもいっぱいあるんだけれども、まずあげてもらうしかないですよね。
- (中村委員) ただかなり偏るかもしれないですね。
- (佐藤教育長) まずは集まるくらいでやってみるしかないですよね。
- (中村委員) 54回もやるのは大変だなと思って、ただそれだけ。
- (佐藤教育長) 54回は経験ないね。
- (平野課長) 丸2年くらいはと思わないと。
- (菊池会長) だいたいコミュニティには文化部長さんという方がいるんですよね。そういう方27人を1回に集めるとか、そういうやり方とか。私もコミュニティから頼まれて話すると、結構興味持っている方もいますし。そういう意味で、27のコミュニティと文化財課がやるのではなくて、そういう形でいろいろと盛り上げてやる。
- (佐藤教育長) 若い人たちが入ってくれると一番いいですね。
- (中村委員) やってみるしかないですね。
- (佐藤教育長) 委員の先生方は相当忙しくなりますね。
- (中村委員) 最後の年なんてめちゃくちゃ忙しいですね。日本遺産をやった時に、似たようなことをやって、モチャモチャになって。やはり難しいところがある。
- (菊池委員) 遠野はどういう風にやっているんですっけ。指定以外にも。遠野遺産。
- (村田補佐) 遠野では、遠野遺産という部分で、指定まではいかないですが、各地域の中で大事なものを出して、それを認定するというような仕組み作りをしています。合わせて、遠野では歴史文化基本構想というのを作ってまして、今回のこの地域計画をもう少し大まかに概略的にしたような構想を立てています。おそらく出来た頃かもしれません。先進事例になるのかなと思っております。地域計画につきましては、県内ではまだ着手するところがないので、おそらく花巻市が県内第一号の取り組みになると県から聞いているので、やり方的には本当に手探りでスタートするというようなことになりますので、またいろいろと皆様にご指導いただいて進めていこうかと思っていました。
- (小野委員) 遠野では今度、市史を出すんですよね。
- (菊池会長) その他はございませんか。市指定の郷土芸能で今ほとんど活動していない

- 団体はあるんですか。
- (平野課長) 何団体かございます。
- (菊池会長) 八幡の獅子踊。あれは活動していないですね。
- (平野課長) 今回の地域計画の各地域での拾い上げの際に、民俗芸能に関してどうなっているか聞き取りをしたいと思っております。その中で、指定の関係をどうしていくかということを文化財保護審議会の場でお話をていきたいなと思ってございます。
- (菊池会長) その他はございませんか。
- (阿部委員) 保存・活用という両輪があるようですが、活用というのは難しいのではないでしょうか。文化財には、民俗芸能みたいなものもあるし、神社や仏像みたいなもの、学問的な古文書みたいなものもあるし。いろいろな分野があるがそれを一括して活用すると括ってもとてもじゃないけど難しい定義だなと。私は、観光と活用を一緒にしていただきたくない。観光というと、ワーウーと騒いでおだつたような考え方をされては文化財ではあり得ないというふうに考えます。活用という点で、保存というのは大事なわけで今までそうしてきたんですが、活用活用と浮き上がった形で取り組んでいただきたくないなという感じを持っております。
- (平野課長) 今考えている、活用という部分なんですが、確かに阿部委員がおっしゃるように観光というのも確かにあると思うんですが、文化財課が活用として考えているのは、公開ということですので、そこを使って観光的にというところまでは今回は踏み込まないというふうに考えています。
- (中村委員) 文化財保護法改定自体が活用っていうのが入っているんですよ。
- (佐藤教育長) 活用の解釈をきちんとしておかないと。
- (阿部委員) 私も、古文書の活用と言うのはよくやりますけど。報告書を書いてますので皆さんに研究する場を提供するとか、そういうのも活用になるわけです。活用っていうのはいろいろ難しいということなんですね。
- (中村委員) 地域計画だから、地域に埋もれている文化財を地域の活性化に使っていこうという計画であり、日本中からお客様を呼ぶという話ではなく。そう考えないと。
- (阿部委員) 花巻市なんかは歴史があって、例えば笹間地区というのは市になって新しいわけですよね。それまでは和賀郡だったわけですから、そういう地域性そのものを埋没しないような形で。例えば文化財の指定なんかで笹間の湧水池なんていうのは景勝に値する素晴らしいところではないでしょうか。ああいうところを見逃しをしているというのは、段違い平行棒みたいな感じがあって、公正な取り扱いを考えていただきたいですね。あそこの神社はなんていう神社ですか。
- (中村委員) 水分神社
- (阿部委員) 古いんでしょ。
- (中村委員) 古いと思いますけど。清水寺のすぐ隣ですからね。一体化になっていたん

だと思います。清水寺さんだから。清い水だから。

(阿部委員) あそこの植生には、珍しいのがあるんじゃないですか。

(菊池会長) その他はよろしいですか。

それでは（2）の文化財保護法の一部改正に伴う文化財保存活用地域計画の作成についてはこれからということですでのよろしいでしょうか。それでは議事については終了します。

（4）その他

(村田課長補佐) ありがとうございました。本日お配りしている資料で説明していない3-1, 3-2ですが、3-1につきましては前回の会議でもお渡ししている資料と全く同じ資料になっておりまして、今後、委員の皆様の参考にしていただくリストという形で掲載しておりますので、来年度以降、何かの参考にしていただければと思います。資料3-2は文化財の指定件数ということで、こちらにつきましては花巻まつりが5月末に指定になって以来、特に変動はありませんので現在、花巻市全体としては288の指定物件がございます。あとは昨年度以降、登録有形文化財ですか登録になっているものもございます。記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財につきましても、冒頭教育長からお話しがありました倉沢人形歌舞伎は答申を受けた段階ですので、まだ件数には含まれはおりませんけれども近々、文化庁長官の選択というのがなされるのだろうと考えております。

（5）閉会（進行：村田課長補佐）